



# KIFA Plaza

鎌ヶ谷市国際交流協会広報誌

第73号

2011年(平成23年)11月22日  
 発行：鎌ヶ谷市国際交流協会  
 〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1  
 TEL 047-445-1141 (内550)  
 FAX 047-441-9400  
<http://www.kifa.gr.jp>

## ワカタネ トライデント高校と心の交流

9月の新学期に合わせKIFAからニュージーランドの姉妹都市・ワカタネのトライデント高校へ、「ありがとう」の小包が発送されました。

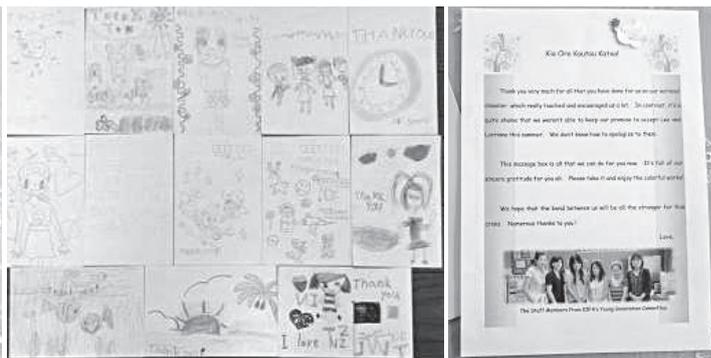
### ホームステイ、交換留学の中止 震災の痛みを乗り越える友情

KIFAでは毎年夏休みに、青少年ロングステイ派遣プログラムとして、鎌ヶ谷市内在学の青少年数人が約4週間、ワカタネのトライデント高校に通い、生徒宅へホームステイをしながら、異文化の学習体験を実施しています。さらに、同校と県立鎌ヶ谷高校では、2007年度から相互に生徒の派遣・受け入れを行っていました。

今年度は、2月に同国のクライストチャーチの大地震に続き、わが国でも3月に東日本大震災が起こり、福島原発の放射能汚染問題の影響もあり、青少年ロングステイ派遣、交換留学ともに中止となってしまいました。5月からの鎌ヶ谷高校への派遣が正式に決まっていたトライデント高校生2人の受け入れも急遽、取り止めとなりました。



このような状況のなか、トライデント高校から震災後いち早く、鎌ヶ谷市及びKIFAに宛てて、お見舞いのメッセージが届きました。さらには、生徒たちが私服の日("Mufti Day"—私服で登校し慈善事業を行う日、上の写真は同封されていたその日の様子です)を設け、日本で困っている学生のためにと、募金活動を行い、義援金を日本赤十字社に贈ってくれました。(NZ \$2000、日本円で127,200円以上集まりました。トライデント高校通信の3/18号より)。



送られたメッセージの数々

### 昨年のロングステイの学生たちからメッセージを送る

青少年委員会では、今年度のロングステイは取り止めになったが、「せめて心の交流、エールの交換だけでも」との思いから、これまでの青少年ロングステイ及び交換留学経験者に、トライデント高校向けの「ありがとう」メッセージの作成を呼び掛けたところ、昨年の夏、同校で貴重な夏休みを過ごした6人の高校生たちが、受験勉強と部活の合間を縫って、立派なビデオレターを作ってくれました。

ビデオレターに加え、鎌ヶ谷高校放送部の協力により作成した学校紹介、学校生活、クラスの様子を紹介や先生方からのメッセージも含まれていました。

また、子ども英会話講座「スマイリーキッズ」の生徒

たちからも、ワカタネのお兄さんお姉さんたちに宛てて、それぞれ工夫を凝らし



2010年の夏、ワカタネのクラスメイトたちと色鮮やかな「サンキューカード」が届きました。さらに茂野昭会長からの手紙と、これらの事業を担当する青少年委員会からのメッセージを添え、トライデント高校へ「ありがとう」の小包を送りました。

両国の青少年、学生たちが再び交歓会でピースサインを交し合うことを期して、トライデント高校の皆さん、鎌ヶ谷市からのメッセージを受け取ってください。

# KIFA交流バスツアー 2011年秋

## 都内の名所旧跡・ 国会議事堂を見学

参加者総勢は84人（外国人はアメリカ3、中国3、韓国2、フィリピン1、バングラディッシュ1、帰国邦人2）を乗せ、バス2台は市役所前を7時45分にスタート。

### \* 浜離宮恩賜庭園

あいさつと自己紹介をしているうちに、都心の特別史跡「浜離宮恩賜庭園」に到着。門を歩いて、300年の松の前で1、2号車の集合写真のあとは、思い思いに池や広場を巡って散策、超高層ビルに囲まれてしまっている徳川將軍家の「鴨場」庭園跡を楽しみました。

### \* フジテレビ球形展望室

続いてお台場のフジテレビへ。25階の球形展望室「はちたま」からは、眼前のお台場公園と高層ビル、東京タワーとスカイツリーが同時に目に入る。遠く丹沢山系、富士山の頭が見える景観を楽しみました。

次はお楽しみのランチバイキング。会場の有明ワシントンホテルのバイキングレストランでは、グループ同士、連れ同士がテーブルについて、お料理を選んで楽しいランチタイムを過ごしました。

### \* 国権の最高機関・国会議事堂

ランチの後は、国権の最高機関・国会議事堂です。バス内アンケートでは一番関心が高かったツアーの人気スポット。本会議場などは、よくテレビ中継で見ているも、実物を見たいというインセンティブでしょうか。

国会見学用玄関で警備員にボディ検査を受け、見守られ（監視され）て赤絨毯の議事堂内へ。日曜日とあって内部は閑散としていて、センセイたちは一人もいない。まずは衆議院の本会議場の傍聴席。テレビで見慣れた光景が目の前に広がる。正面に議長席、その下の演台、両脇に大臣席が並ぶ。議場の机には名札があり、テレビなどで知っている議員名が並んでいる。正面の一段と高いところに御座もある。ここで私たち国民の幸せにも不幸(?)にもつながる法律が可決されたり、否決されたりする。千葉県出身の野田佳彦さんが内閣総理大臣に指名された議場でもある。

貴賓室や各党の名札の掛かる赤絨毯の廊下、中央尖塔



浜離宮恩賜庭園 300年松の前で 1号車の皆さん



国会議事堂の前で 2号車の皆さん

KIFAの人気イベント——交流バスツアーが9月25日の日曜日に市民・外国人らが参加して行われました。今年の企画は「知ってはいるけれど」行ったことがない、あるいはもう一度、訪れたい東京都内の名所旧跡と政治・文化施設を巡りました。

下のエントランスを見学。議事堂正面で全員集合の記念写真に納まる。

### \* 明治神宮の森

ツアーの行程も終盤へ。バスは人出でにぎわう表参道の渋滞の中を明治神宮へ向かう。鬱蒼と茂った緑したたる常盤の森につつまれた明治神宮、明治天皇と昭憲皇太后をお祀りする神社で、年末年始の参詣者が日本一という「国民の心のふるさと」として親しまれています。

### \* 浅草・浅草寺境内、仲見世

最後の下車は浅草・浅草寺、仲見世の散策です。日曜日とあって境内はかなりの賑わいで、人の波が続いています。仲見世を歩く外国人の一行が目につきます。明治神宮でも多くのグループが来ていました。外国人にとって、東京見学のスポットは神社仏閣が関心のようです。

### \* じゃんけんゲームで商品ゲット

車内ゲームもお楽しみ。今年は茂野昭会長提供の「茂野製麺製品」景品付きじゃんけん勝負。会長対全員で「グーチョコキパー」「アイコデショ」のたびにボルテージが上がる。ご夫婦で景品ゲットの強運組もいます。秘訣を聞くとテレビで見た「じゃんけん必勝法」を実行した結果だという。

続いて岡本靖子副会長提供、歴代総理大臣の似顔絵がプリントされたクリアファイルです。このクリアファイルは2日前の金曜日に出来たばかりで、岡本副会長が特別ルートから入手してきたプレミアム景品でした。

その訳とは、野田総理大臣の似顔絵がプリントされていることです。この日は日曜日で国会のお土産ショップは閉店中。見学の葉に配られたガイドブックの歴代総理一覧には野田首相の名が載っていない。千葉県出身の野田総理大臣の似顔絵入り記念商品を、最初に手にしたのは千葉県鎌ケ谷市の人たちでした。

秋の夕暮れは早い、薄暗くなり始めた6時過ぎに市役所前に帰着。茂野会長以下5人の執行部も勢ぞろいした今年のバスツアーは好天にも恵まれ、下車見学にも余裕があって、参加者は十分満足のような様子でした。企画実行の交流部会スタッフ一同も、みなさん「ありがとう」

# 子どもたちの国際交流・言葉や文化の違いを体験 違いの発見は「あいさつ」から

いろいろな国の言葉で楽しもう——8月29日（月）、中央公民館学習室で、子どもたちと保護者が一緒に、多文化を理解する「いろいろな国の言葉で楽しもう」のイベントが行われました。保護者を含め小学校1年生から6年生まで、33人がいろいろな国の言葉、習慣、文化をクイズと工作で楽しみました。

## ◆カードであいさつゲーム

鎌ヶ谷市在住の都さん（韓国）、張さん（中国）、クリスティーナさん（スペイン）が写真左から、国旗と「こんにちは」のあいさつを紹介してから、カードを使った「あいさつゲーム」です。



全員にカード配られ、参加者は会場を歩き回り、出会った人に好きなカードを選んで示します。お互い示されたカードの国の言葉で「こんにちは」。韓国語の「アンニョン・ハセヨ」と中国語の「ニー・ハオ」は、何なくクリア。スペイン語の「ブエナス・タルデス」は、ちょっと戸惑い気味です。

## ◆発音クイズで正解探し

まずは発音のクイズです。スペイン語「una casita」（ウナ・カシータ）「小さな家」「お菓子」「お腹がすいた」の3枚の絵カードが示されます。各チーム発音を聞いて3つの絵カードから正解を探します。発音を聞くと「おなかすいた」にも聞こえるし、カシ（お菓子）にも聞こえるし。各グループが話し合って回答を出します。正解は「小さな家」でした。

続いて韓国語の「コグマタッタ」。「コグマがたった」「コグマがブランコに乗った」「サツマイモが焦げた」の3枚の絵カードが示されます。正解は「サツマイモが焦



ロシアの民具・マトリョーシカを紙コップで作りました



げた」でした。ドイツ語の「Ja」は、「はい（Yes）」「弓矢」「嫌（No）」のうちどれが正解？ 回答のタイムリミットは韓国語、中国語、スペイン語でカ

ウントダウンです。

発音クイズの後は、中国語の漢字問題。「娘」は「おばあさん」「女の子」「お母さん」のカードから正解を探します。では「米飛」は「米」が「飛」で、子どもたちは「ポップコーン」を連想しました。正解はディック・ブルーナーで有名な「ミッフィー」でした=写真左上。

## ◆習慣の違いを知る

言葉の次は習慣の違いです。ニュージーランドでは夜、寝るときに、子どもは抜けた歯（乳歯）を枕の下に入れて寝る。寝ている間に妖精が来て取っていき、乳歯の代わりにお金を置いていく。スペインでは、抜けた乳歯を枕の下に入れておくと、夜ねずみが来て歯を持っていき、コインを置いていく。ねずみはその歯で家を作る。

最後に都さん、張さん、クリスティーナさんに参加者全員で、「ありがとう！」を大合唱して、一人ずつ握手を交わしてイベントを終了しました。

## 身近な話題でわかりやすく

# 日常を語る「英会話サロン」

2011年度1回目のサロンが7月10日（日）の午後、総合福祉保健センター6階の大会議室で開かれました。

カナダ人のデレック・スミス（Derek Smith）さんが選んだテーマは、もし「夕食準備が30分しかなかったら何作る？」——1枚ずつ渡されたカードには食材が一つ書いてあり、レシピを説明せよとのこと。筆者のカードは「大根」。「風呂吹き大根」の作り方を披露しました。

アメリカ人ALTのキャサリン・ボアン（Kathryn Bohan）さんのテーマは「私の好きな日本の場所」——キャサリンさんの好きな都市は東京だそうです。

アメリカ人のエリー本間（Ellie Honma）さんは今回初参加です。来日14年、テーマは「3.11大地震について故郷の家族や友だちがしたこと」——記憶に鮮明な「東日本大震災」のことだけに、参加者全員が、何らかの被害などに遭っていたため話が尽きませんでした。

## ●第2回 英会話サロン開催

日時 11月13日（日）13:20~16:00

場所 総合福祉保健センター 6階大会議室

講師とテーマは以下の通りでした。

- ①Mr. Derek Smith : Crossroad-if you could get another chance
- ②Ms. Ellie Honma : Raising a Bilingual Family
- ③Mr. Kyle Mullen : International impressions



## 9カ国の学習者が通う 「にほん語講座」

3月11日の東日本大震災以来、休講になっていた「にほんご講座」も5月18日に再スタートを切りました。

震災直後に母国に帰国したまま、日本へ戻って来ない受講者や仕事が多忙になり出席できない、または仕事が変わって授業に出られない受講者が多く、8月までの授業は寂しいものでした。

9月に入ると新規の受講者が増え、頼もしい新たなボランティアも加わって、教室に活気が出てきました。さらなる受講者の参加を期待しています。

受講者の出身地はイギリス、アメリカ、オランダ、中

国、フィリピン、韓国、ネパール、ロシア、フランスなど多くの国々の出身者が通う教室になっています。

学習は初心者、初級Ⅰ、初級Ⅱ、中級以上など5グループに分かれ、和やかに楽しく熱心に学習しています。日本語を会得することはもちろん、日本語検定受験など目的意識を持った受講生も多く、充実して活気に溢れる授業が展開されています。

授業の基本原則は受講生の母語を使わず直接、日本語を指導していく方法です。あいさつ、名詞文から始まり、形容詞文、動詞文など学習しながら、段階的に語彙を増やし文法を会得し、日常的に会話ができ、敬語も上手く使えることを目的としています。

日本語講座では常時、受講生の受付を行っています。希望者あるいは紹介者は事務局にご連絡下さい。

電話445-1142（内線550、9時から16時まで）

## 「事業仕分け」実施される

### — 転換迫られるKIFAの事業 —

鎌ケ谷市が実施している36の補助事業について、10月1日「事業仕分け」が実施されました。これは10人の市民評価委員と、市から委託されたNPO法人（構想日本）から4人が出席し、各事業について審議するというもの。KIFAの行っている事業も仕分けの対象となり、結果は「市（要改善）」というものでした。これは、「市が主体的に行うべき事業であるべきだが、改善する必要がある」というものです。鎌ケ谷市在住の外国人の増加傾向を見ると、英語圏の人たちは横ばいである一方、中国語圏を中心とした東南アジアの人たちが大幅に増加していることを受け、「国際交流」から「多文化共生」へ、という背景によるものでしょう。

この「事業仕分け」の結果は現在、鎌ケ谷市のホームページに載っており、11月15日までに「パブリックコメ

## 編集後記

KIFAホームページを7月21日から一新しました。参考にしようと全国の「国際交流協会」のHPをいくつか拝見しました。楽しくアニメなど採用した動的なものから、紙芝居のような静止画像的なものもありました。それは協会自体が活発に情報を発信しているか否かによるものでした。創設23年を経過し、KIFAも転機のようにです。協会運営と方向性の選択を誤らないことを願うばかりです。 (T)

ント」として広く市民の意見を求めました。鎌ケ谷市はこの結果も考慮に入れ、最終的な結論を出すとしています。次号74号（24年3月発行予定）には特集記事として最終結果を掲載する予定です。

## お知らせ

### ◆平成23年KIFA「国際交流まつり」

20年以上の歴史を誇る「KIFAパーティ」が今年も趣向を変えて「国際交流まつり」として11月20日に行われました。

（プログラムの詳細はKIFAPlaza74号に掲載します）

### ☆世界をめぐる音楽の旅

- ・独唱（イタリア・フランス）ソプラノ：松本やすこ
- ・ジャズ演奏（アメリカ・中南米）
- ・独唱（中国・イタリア）ソプラノ：韓曉娟
- ・独唱（日本・アメリカ）ソプラノ：佐瀬光代
- ・その他、ブースなど多彩に開かれました。

### ◆鎌ケ谷市制40周年記念協賛講演会「世界を知る会」

2012年1月14日（土） 14：30～16：00

東部学習センター レインボーホール

講演会「ニュージーランドをもっと知ろう！」

講師 高橋前ニュージーランド大使

### ◆世界の家庭料理講習会

2012年2月12日（日） 東初富公民館

ロシア料理

### ◆語学研修講座閉講式 2月5日（日）保健センター

### ◆子ども英会話教室閉講式 2月11日（土）中央公民館